



今回の「高校教育指導課通信」は、「ICTを活用した教育の推進を図る体制づくり」の取組についての特集号です。呉宮原高等学校と広島観音高等学校を紹介します。

【呉宮原高等学校】 <http://www.kuremiyahara-h.hiroshima-c.ed.jp/>  
誰も取り残さない校内体制の構築—生徒、教員のICTの活用と他校への成果の普及—

## ◆ICT活用推進プロジェクトの本格始動

昨年度、ICTを活用した教育の在り方を検討し、本年度から、強力に推進するため、「ICT活用推進プロジェクト」として校務分掌に位置付けられ、本格的に始動しました。このプロジェクトを中心に、生徒の学びを止めないという方針のもと、臨時休業中の早い段階からオンラインでの動画配信を始めることができ、全教科での組織的な取組となりました。

## ◆教員間の情報共有が生徒の学習環境の改善へ

校内での改善も順調に進みました。職員室では教員間で活発に情報交換し合い、全教員が基本的な操作ができるようになりました。また、生徒の学習環境を整備するため、学校のホームページ上に「学習サイト」を開設し、G Suite上の動画等へのアクセスをやすくしました。



「学習サイト」のトップページに全教科のタブが並ぶ

### 担当の先生より

⇒活発に議論が進む中で、情報を受信する生徒たちにとってどうすれば使いやすいかという視点で環境の整備が進みました。その結果が、「学習サイト」の開設に結び付きました。

⇒自校の成果普及を目的に、「学習サイト」アカウントがあれば誰でも「学習サイト」にアクセスできるようにしています。

【広島観音高等学校】 <http://www.kanon-h.hiroshima-c.ed.jp/>  
分掌が機能化する校内体制の構築—臨時休業中における教務部とICTワーキンググループの協働—

## ◆機動力のICTワーキンググループ

校内全体の組織改編の一環として、昨年度、若手やベテランの教員から成るICTワーキンググループ(WG)を創設しています。

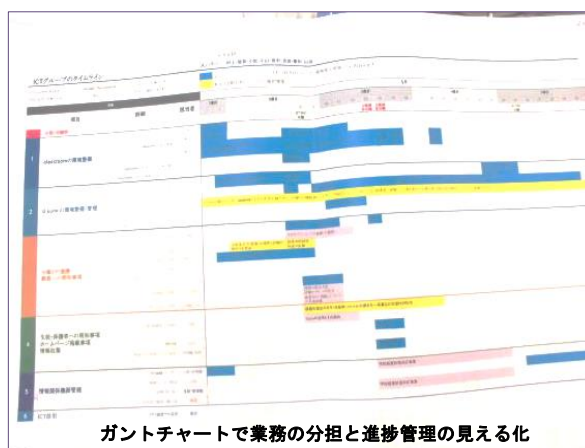
組織的に取り組めるように、ガントチャートにより、業務内容、分担、実施時期を明確にして進捗管理をしています。臨時休業前にWGが生徒の家庭でのICT環境を把握、整備しました。教員のスキルアップ研修を実施するなど、校内のICTの活用環境が一気に進みました。

## ◆教務部及びキャリア育成部によるリード

生徒の学びをデザインするのは教務部とキャリア育成部です。アンケート等による生徒の生活、学習状況の把握、調査以外には先生方の職員室での日々の対話が重要な情報源です。取組の方向性を決定したり、意識統一を図ったりするために教科主任会を定期的に招集して、課題の設定、評価、再開後の授業進捗の確認、内容の精査等具体的な取組の指示の発信、意見集約、取組の評価などを行っています。



職員室は生徒の情報交換の場



ガントチャートで業務の分担と進捗管理の見える化